

ロシア東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2006年(平成18年)5月25日号 No.1363

目次

● 拡大を続ける対口中古車輸出	齋藤 大輔 1
● エトセトラ	6
『調査月報』2006年6月号(900号記念号)のご案内 / 6	
日露経済フォーラムのご案内 / 7	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	7
● ロシア新着企業情報	8
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	8

拡大を続ける対口中古車輸出

はじめに

近年、日本からのロシア向け中古車輸出は大きく伸びている。そこで本号では、当会ロシア東欧経済研究所の齋藤研究員によるレポートを掲載する。同研究員は2003年4月～2006年4月にかけて在ウラジオストク日本総領事館に経済専門調査員として赴任し、現地でロシア極東の中古車市場の動向をフォローしてきた。本レポートは日本の対口中古車輸出の概観、ならびにCIS諸国のなかで急激に伸びているカザフスタン向け輸出について報告したものが、日ロ両国の関係者へのヒアリングや実態調査を踏まえた、齋藤研究員のより詳細なレポートは、当会刊行物において改めて紹介する予定である。

1. 日本の中古車輸出

日本財務省の2005年の貿易統計によると、中古車(乗用車、トラック、バス)の輸出台数は94万298台となり、前年比で10万5,065台、12.6%増加した。輸出台数は近年、増加の一途を辿っている。2002年に60万台であった輸出台数は、2003年には71万台、2004年には84万台と、率にして17～18%、台数にして年間10万台以上のペースで伸びている。貿易統計に反映されない「旅具通関」(携行品輸出)も含めれば、2004年に続いて100万台を突破した。